

平成28年度 入試 【推薦入試Ⅰ】

小論文問題

(教育学部 学校教育課程Ⅰ類)

自然環境教育専攻

注意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 3ページ、解答用紙 4枚、下書き用紙4枚である。

指示があつてから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

問題 1

小学校第4学年理科「水のすがたと温度」単元では、次のように授業の一部が進められる。下に書かれた授業の流れを読んだ後、問1～2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典：東京書籍『新編新しい理科4』，2015.

問1 水を熱した時間と温度の関係を示す折れ線グラフを書きなさい。定規を使う必要はありません。

問2 表1と折れ線グラフを見ながら次の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 児童がまとめ①「水を熱すると、水の温度が上がります。」に至るためには、どのような点に注意して説明しなければなりませんか。その説明を解答欄におさまるように文章で表現しなさい。

(2) 児童がまとめ②「水を熱すると、湯気が出てきたり、中からあわが出てきたりします。」に至るためには、どのような点に注意して説明しなければなりませんか。その説明を解答欄におさまるように文章で表現しなさい。

(3) 児童がまとめ③「水が熱せられて 100°C ちかくになると、中からさかんにあわを出します。」に至るためには、どのような点に注意して説明しなければなりませんか。その説明を解答欄におさまるように文章で表現しなさい。

(4) 児童がまとめ④「水がふつとうしている間、水の温度は上がりません。」に至るためには、どのような点に注意して説明しなければなりませんか。その説明を解答欄におさまるように文章で表現しなさい。

問題2

地球の物質循環に関する次の文章を読み、以下の問1～2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(松井孝典著、「我関わる、ゆえに我あり－地球システム論と文明」、集英社新書、2012、より一部改作して引用)

問1 地球上での水の循環について、本文を参考に図と短い文章を用いて解答欄に説明しなさい。
ただし、水の移動方向を示す矢印を図中に含めること。

問2 本文の中で著者は、農耕牧畜開始以降の人類を「人間圏」として、地球の構成要素のひとつとして定義している。「人間圏」の形成によって、地球の「物質循環とエネルギーの流れ」はどうのように変化したと考えられるか。現代の地球環境問題も関連付けながら、句読点を含み解答欄に500字以内で述べなさい。